読むと正親のまちが♥好き♥になる

正親学区ニュース

（せいしんがっく）

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.1

Sept.2020

コロナ禍の中でも、安心して暮らし続けられるまちづくりが、正親学区では行われています。

正親学区では今日も、３密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。
今回は、６月１８日に行われたあきや・まちづくり・せいしんの委員会の様子をお伝えします。

この日の委員会には事務局の他に、株式会社サンワコン・京都府庁・京都市役所・上京区役所・上京区社協の各職員が参加しました。

◎「地域の方が顔つなぎすることで安心できる」

正親学区では、約 100 軒の空き家があり、また、75 歳以上の高齢者も 500 名を超えています。安全・安心にいつまでも住み続けられるにぎわい・活気のあるまちづくりのため、正親住民福祉協議会（住協）が中心となって、NPO 法人あきや・まちづくり・せいしんをつくりました。

これから、あきや・まちづくり・せいしんで取り組んでいこうとしているのが、地域で暮らす高齢の方が、京都に下宿しようとしている大学生と同居する京都府の事業「京都ソリデール」です。府下ではすでに 36 組の方が利用されていて、マッチング事業者が大学生・高齢の方の募集や同居後のアフターケアを行います。お互いの生活に張り合いが生まれたり交流につながったりした事例もあるんですよ。

これまで地域福祉活動を行ってきた住協が行う NPO 法人だから、すでに地域の方と「顔の見える関係」ができています。心配なのは、大学生とどうやって関係を築いていくか…。

たとえば、社会人は対象にならないの？長く住んでくれそうな気がするけど。

現時点では大学生のみ。期限があるから貸せる、というのもあると思います。大学生の面倒を高齢の方が見てくれる、と思われている親御さんも多いですが、基本的にはお互い自立した生活をしています。

正親学区で始めるにあたって、大学生と高齢の方のお見合い会が出来ないかな？

いいですね！ あきや・まちづくり・せいしんが顔つなぎすることで、高齢の方にとっても大学生にとっても、あるいはその親御さんにとっても安心ですね。

◎「困りごとが起きたら、今日参加したメンバーが寄り添って一緒に考える」

大学生・高齢の方の、お互いの距離感が合わないとうまくいかないことがあります。高齢の方のご家族…お子さんなどの理解を得ておくことも必要です。

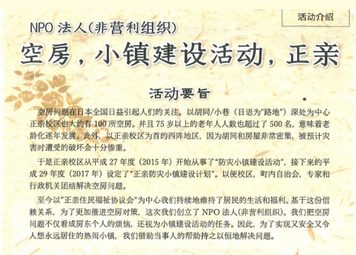
そういうことを伝えられるのが、あきや・まちづくり・せいしんの力だと思う。顔つなぎに入ることで安心してもらう。困りごとが起きたら、今日参加したメンバーが寄り添って一緒に考える！

でも大学生は、一人暮らしをしたい盛りでは？ この仕組みを選ぶのは、意識が高い大学生では。どこに声掛けしたらいいかな…。

正親学区の周りには、福祉系の学部がある大学がいくつもある。そうした学校にピンポイントで声掛けしてもいいかも！

その学校間で、情報交換会をしてもいいかも！

条件が合うことで、出会える人はもっと増えると思う。学生さんを受け入れられる環境を、みんなでつくっていきたいね！



NPO 法人(非营利组织)　活动介绍

空房，小镇建设活动，正亲

活动要旨

空房问题在日本全国日益引起人们的关注。以胡同/小巷（日语为"路地"）深处为中心正亲校区也大约有 100 所空房，并且 75 岁以上的老年人人数也超过了 500 名。意味着老龄化逐年发展。此外，以正亲校区为首的四阵地区，因为胡同和房屋非常密集，被预计灾害时遭受的破坏会十分惨重。

于是正亲校区从平成 27 年度（2015 年）开始从事了"防灾小镇建设活动"。接下来的平成 29 年度（2017 年）设定了"正亲防灾小镇建设计划"。以便校区，町内自治会，专家和行政机关团结解决空房问题。

至今以"正亲住民福祉协议会"为中心我们持续地维持了居民的生活和福利。基于这份信赖关系，为了更加推进空房对策，这次我们创立了 NPO 法人(非营利组织)。我们把空房问题不仅看成房东个人的烦恼，还视为小镇建设活动的任务。因此，为了实现又安全又令人想永远居住的热闹小镇，我们借助当事人的帮助持之以恒地解决问题。

あきや・まちづくり・せいしんの中国語版パンフレットを作成。今後、留学生の方にも使っていただけるよう、大使館等に働き掛ける予定です。

委員会後も話し合いは終わりません。安全・安心にいつまでも住み続けられるにぎわい・活気のある正親学区づくりが、今日も行われています。

活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。
最新の活動は上京区社協（Tel:432-9535）までお尋ねください。

＼反対側の面も、ぜひご覧ください！／